



ウエストコースト・チョッパーズ製CFLフレームを巧みに使ったこの一台。セレクトッドならではの都会的な仕上がりである。

SELECTED CUSTOM MOTORCYCLE

MADROD

文=アッキー加藤 text by AKI KATO 写真=渡辺まこと photographs by MAKOTO WATANABE
取材協力=セレクトッドカスタムモーターサイクル phone 045-252-2933 www.selected.co.jp

90年代、彗星のように現れ、チョッパーシーンを牽引した存在である『ウエストコースト・チョッパーズ』。それまで、ボルトオンが主流であったカスタムの世界に、ハンドメイドの概念を復権させたこのショップが巻き起こした熱は我々の記憶に新しいが、ここに紹介する一台はそのWCCのマシンをベースにリメイクしたもの。そもそものが都会的なスタイルであるネオチョッパーの魅力がセレクトッドの手によって、より強調されたかのような仕上がりを見せつけている。

カスタムマシンを『作品』として捉えた場合、完成車両に手を下すことはあたかもタブーのように語られるが、それもやはり決めるのはオーナー次第。ユーズドとして手に入れた車両をより好みに近づけるためモディファイを施すのは至極当然の成り行きだろう。もちろん、ベースが極上であればあるほど問われるのがビルダーの力量だ。元のマシンのクオリティを凌駕してこそ、初めてリメイクは意味を持つ。セレクトッドの実力……それなりの『再生』である。

1 細身にシェイプされたワンオフのタンク。ストレッチされたメインチューブに合わせてデザインされ、ペイントにも工夫が見える。2 エンジン内部はストックのままだが、キャブはHSR42をセット。エアクリナーはカスタムテック製。3 ワンオフのエキゾーストはショットガンタイプ。鈍く光るブラックペイントが凄みを醸し出す。4 シートレール位置が低いので、オイルタンクはWCCの小さなバレルスタイル。絶妙なサイズだ。5 プライマリーはBDLを選択。トランスミッションは純正の5速を組み込んでいる。6 リアタイヤは最大の300を選択。リベットが打ち込まれたホイールは前後ともBIG MACHINE製を装着。



